

福島県裏磐梯のコカナダモについて

星 一 彰*

福島県裏磐梯のコカナダモについては、ジュンサイ栽培地で確認され、すでにその分布拡大状況が報告(星、1989)されたが、その後の分布状況を報告する。

1989年8月4日に、下流の秋元湖でコカナダモの切れ藻が確認された。現在のところ湖の1部分ではあるが、分布を拡大しつつある。

1990年夏には、乙女沼の下流、小野川湖に注ぐ河川・松原川で著しく分布拡大した。切れ藻が流入している事実は、すでに報告したが、確実に分布を拡大しつつある。

全般的に、人為的影響の大きい場所、水質汚濁、富栄養化の進行した場所に分布拡大する傾向が、より著しくあらわれつつあるように思われる。

現在、福島県裏磐梯は、リゾート開発の核的場所として位置づけられ、リゾートホテル、スキー場、ゴルフ場などの計画が多い。コカナダモ分布拡大に拍車がかかることが予想される。

裏磐梯の水はすべて猪苗代湖に注ぎ、猪苗代湖の水の一部は、地方都市郡山市民の水道水として利用されている。水生植物の調査研究をとおして、その生態系の異変を観察してゆきたいと思う。

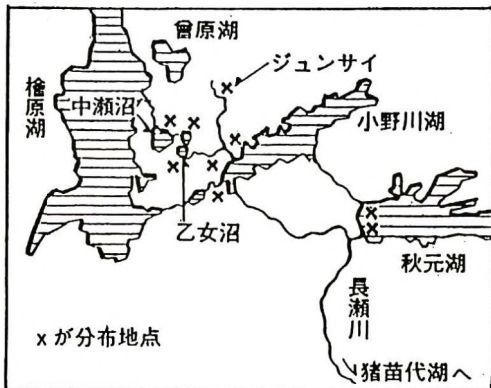


図1. 裏磐梯コカナダモの分布 (x)

写真1(上) コカナダモが確認された秋元湖(1989.8.4)

写真2(中) 小野湖への河川・松原川のコカナダモ

(1990.6.3)

写真3(下) 松原川のコカナダモ分布拡大(1990.9.2)

*福島東高校